



あけましておめでとうございます

昨年中は大変お世話になりました本年も変わらずよろしくお願い申し上げます

mail : masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】《部内資料》

「元旦正午」(毎年恒例)
上田駅前宣伝

高村京子県議と上田市議団がそれぞれ挨拶
今年是小金沢ゆか衆議院長野3区予定候補も「福島原発事故を目的のあたりにして政治なんて遠いわ、私には関係ないなんて、到底思えない状況がそこにはありません。私には変わりました。そして、今の私があります」と挨拶



憲法が輝くホンモノの地方自治をめざし全力で走り続けます 本年も忙しい1年になりそうですがよろしくお願いいたします

経済の国際化、あるいはグローバル化が進展するなかで、地域経済や地方自治、地域づくりをどのようにとらえ、ひとり一人の人間が住民としてのどのように行動すべきかが問われています。

疲弊した地域を再生するには、地域資源を活かした持続可能な「地域循環型経済」をめざすべき道であると考えます。



多くの市民や団体から寄せられた声を
156項目にまとめ「要望書」を提出

日本共産党上田市議団は、昨年12月20日母袋上田市長に「2017年度上田市政と予算に関する要望書」を提出しました。

- 【重点要望】
- 景気雇用経済対策
 - 観光を活かしたまちづくり
 - 資源循環型社会の構築
 - 学園都市づくりの推進
 - 格差是正と貧困対策

(45項目)

- 【分野別要望】
- 1 災害に強いまちづくり
 - 2 サントミューゼの管理・運営
 - 3 地域内分権の推進
 - 4 行財政改革
 - 5 介護保険・高齢者対策
 - 6 障がい者(児)対策
 - 7 地域医療、保健予防、医療対策
 - 8 国民健康保険事業
 - 9 商工・観光
 - 10 農林業の振興
 - 11 道路、公共交通対策
 - 12 人権行政
 - 13 住宅対策
 - 14 上下水道事業
 - 15 子育て支援
 - 16 教育行政
 - 17 平和行政

(111項目)

わたなべ正博のノート

- 1日 佐加神社拝賀式
- ・石神自治会新年会
- ・上田駅前宣伝「新年のあいさつ」
- ・下之郷9班常会
- ・揃った家族でゆつくり・・・
- ・別所温泉「新年街頭あいさつ」
- ・母「露子」見舞い
- 4日 青木村へ
- 5日 上田市商工会議所賀詞交換会
- ・上田市農業政策議員連盟役員会
- 6日 モルティー塩田街演
- 7日 東塩田新自治会長宅訪問(8軒)
- 8日 東塩田6自治会新年総会挨拶回り
- 9日 支部長会議
- 10日 定期検診「生協診療所」
- 11日 上田市観光産業振興議員連盟
- 12日 上田市農業政策議員連盟
- 13日 生活相談
- 14日 モルティー塩田街演
- 15日 【ドラマ館(終)】
- ・静岡県へ18日まで
- 16日 議員研修会
- 17日 モルティー塩田街演
- 18日 下之郷自治会新年総会
- 19日 東塩田自治会新年総会
- 20日 鈴木自治会新年総会
- 21日 東信5市議員研修会
- 22日 議会代表者会行政視察
- 23日 右の同じ
- 24日 民商塩田支部新年会
- 25日 会派代表者会
- 26日 上田市職労新春パーティー
- 27日 モルティー塩田街演
- 28日 民主団体合同旗開き
- 29日 上田駅前モーニングスピーチ
- 30日 後援会役員会

【1月】

(1月10日現在)

案内物し催

わたなべ正博市議を囲むほつりの会

- 2月18日(土) 10時(発)〜15時(着)
- 長和町「やすらぎの湯」(10:30〜14:30)
- 会費2000円「昼食」(予)
- どなたでも大歓迎「送迎あり」

問い合わせは
わたなべ市議まで

東塩田小学校「自校給食」の存続を

食育が重視されている今求められるのは子どもたちに単に食事を提供するだけの効率や経済性を重視の給食ではありません。私は、答申された「上田市の次世代を担う子どもたちをはぐくむ学校給食」という理念を実現するために力を尽くします

【要望書】 私たちの願い

- 1 上田市学校給食運営審議会の答申に反する「今後の学校給食運営方針」の「統合・大規模センター」の建設は行わないでください。
- 2 上田市学校給食運営審議会が答申した「単独調理場方式（自校給食）が望ましい」を尊重した学校給食運営方針を再度検討してください。
- 3 東塩田小学校の自校給食を存続してください。

上田市学校給食運営審議会が答申してから4年半もかけて出した上田市の結論が答申内容を反映したものではありません。ことを知らない方々へも丁寧な説明が必要だと思いますので、「統合・大規模センター」へ変更となる予定の小中学校の保護者及び地域の方々への説明をお願いします。

(東塩田小学校PTA)

東塩田小学校PTA(20名参加・私も出席)は、昨年12月27日、統合・大規模センター建設の反対と自校給食存続を求め832筆の署名と要望書を市長と教育長に提出しました。



【保護者から】

東塩田小学校の自校給食廃止については、3月の説明会で初めて知りました。一回きりです。それからいろいろな機会を得て勉強しましたが、アレルギー対応は難しいと考えます。

調理室の建物は古い(築54年)が耐震工事をすればまだ使えるし、調理器具もまだ使えると聞いています。高い調理器具を新たに買うよりはるか安くできるし、人件費は上田市に税金として還元できるので、雇用を増やすというのを考えても、自校給食です。

高い調理器具を新たに買うよりはるか安くできるし、人件費は上田市に税金として還元できるので、雇用を増やすというのを考えても、自校給食です。

せっかくある自校給食です。ここでやめてしまえば終わります。

センターが悪いなんて思いません。子どもにとつてどうかと考えると、自校給食がいいんです。恵方巻きも一本一本巻いてくれるんです。

センターがダメだといっているわけではありません。子どもたちのためにとつて行うものではないと思います。でも、ここでやめてしまえば終わりです。復活は至難の業です。母袋市長に自校給食を残して自信をもって全国に伝えるようなものにしてください。・・・伝えてください。

災害時に調理のできる場所を分散しておく必要があるとあります。防災を考えたなら右岸左岸に必要です。

学校給食は子どもたちひとり一人向き合っ作ってくれる。そんな自校給食を残してください。

せっかくある自校給食です。残してください。



【行政側から】

(中村教育次長)「皆様の自校式が良いというおもいはけつして否定するものではありません」答申がありさまざま(アレルギー、地産地消、食育、直営か委託か等)

そもそも審議の過程で「1万食の統合・大規模センター化」について検討は一度もされていないのに、なぜこの方針になるのか・・・教育問題に関する責任の所在が教育委員会なのか市長なのか・・・

検討したが結果的に「自校給食の部分だけは答申とはずれてしまった」東塩田小学校については、丸子給食センターが距離的にも近いし受入も可能というところもあつて判断した。

(井上副市長) この問題は「基本的には教育委員会の問題であります。教育委員会を主体にして市長部局と教育委員会での後の取り扱い、考え方を整理をして、さらにすすめていきたい」(11月24日の市長発言)

教育委員会は合議制の機関なので教育委員のみならず、市長部局は人や金の面でも対応ができるのか検討する。そして総合的にその判断を市長がする。これが行政の仕組みです。

今回のみなさまの思いは十分受けとめさせていただきます。ただききましたので教育委員会と話をしていきます。